

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ピルビン酸エチル
会社名	株式会社武蔵野化学研究所
本社	東京都千代田区丸の内一丁目 8 番 2 号
担当部門	品質保証室
連絡先	電話：03-6810-0241 FAX：03-6810-0146
整理番号	P O 2 - 0 2

2. 危険有害性の要約

G H S 分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分 3

健康に対する有毒性

急性毒性（吸入・蒸気） 区分 3

G H S ラベル

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

吸入すると有毒

注意書き

安全対策

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地すること／アースをとること。
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

皮膚（又は髪）に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
火災の場合、適切な消火方法をとること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師に連絡すること。

保管（貯蔵）

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物／容器を適切な廃棄方法によって廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	単一製品
化学名または一般名	ピルビン酸エチル
別名	2-オキソプロパン酸エチル
成分及び含有量	ピルビン酸エチル 98.0%以上

化学特性（構造式）	$\text{CH}_3 - \text{C} - \text{COOC}_2\text{H}_5$ $\parallel$ O
官報公示整理番号	(2)-1505（化審法）
C A S N o .	617-35-6
T S C A	登録あり
E I N E C S	2105112
輸出統計品目	2918.30-000
輸入統計品目	2918.30-200

4. 応急措置

皮膚に付着した場合	製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。
眼に入った場合	清浄な水で最低 15 分間目を洗浄したのち直ちに医師の手当を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、直ちにはずす。
吸入した場合	すみやかに空気の新鮮な場所へ出る。呼吸困難の場合には、酸素吸入を行う。呼吸していない場合には、人工呼吸を行う。
誤飲した場合	多量の水、または食塩水を飲ませて、すみやかに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末(ABC)消火器、泡消火器
特定の消火方法	火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。また、延焼の恐れのないように、水スプレーで周辺のタンク、建物等を冷却する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	化学用保護メガネ、ゴム長靴、保護手袋を着用する。作業の際は、風下の人を待避させる。漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。風下で作業をしない。
環境に対する注意事項	生分解性があり、魚毒性も低いと考えられる。ただし、濃厚な液が河川等に排出されないように注意する。
除去方法	少量の場合は、土砂等で吸着させて空容器に回収し、その後を多量の水で洗い流す。大量の場合は、漏洩した液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後、できるだけ空容器に回収する。その後は多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものをすみやかに取り除く。消火用機材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	火気、静電気、火花などの、着火源が生じないように注意する。
注意事項	保管の際には、上記の他、直射日光を避け、密閉し、高温物を近づけない。保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。
安全取扱い注意事項	漏洩の防止に留意する。接触、吸入の防止のための保護具を着用する。
保管	
適切な保管条件	遮光した気密容器にて、常温で保管する。
安全な容器包装材料	ポリエチレン等の樹脂系、又はステンレス鋼

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	保護メガネ、ビニル手袋を着用し、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	透明な液体
色	黄色
におい	特異なにおいがある。
pH	情報無し
物理的状态が変化する特定の温度	
沸点	148℃
引火点	50.5℃ (タグ密閉式)
爆発特性	
爆発限界	下限：1.58 vol% 上限：10.79 vol%
蒸気圧	0.373 kPa (20℃) 0.690 kPa (30℃)
蒸発速度	0.311 (酢酸ブチル=1)
燃焼熱	21,600 J/g
比重	d_{20}^{20} 1.040~1.060
溶解性	
溶媒に対する溶解性	エタノール、トルエンに可溶

10. 安定性及び反応性

安定性	通常取り扱い条件では安定である。
反応性	酸、アルカリと反応し加水分解することがある。
避けるべき条件	裸火、過熱、日光
混触危険物質	強アルカリ
危険有害な分解生成物	一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	LD ₅₀ 5000 mg 以上/kg (ラット 経口)
急性吸入毒性	LC ₅₀ 5.53 g 以上/m ³ (ラット) *死亡例無し
局所効果	データ無し

12. 環境影響情報

残留性／分解性	分解性良好
COD(Mn)	0.41 g/g
BOD	1.27 g/g

13. 廃棄上の注意

- 廃棄する場合は焼却によって行い、方法は次のいずれかによる。
- ・ ケイソウ土等に吸収させて、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
 - ・ 焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。

14. 輸送上の注意

国際規制	特に無し
国連分類	クラス 3 (引火性液体) 容器等級 III
国連番号	1993
その他	・ 車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人に運送注意書きを交付する。 ・ 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

消防法	危険物 第四類 第二石油類 (非水溶性)
安衛法	危険物 (施行令別表第一 引火性)
船舶安全法	危告示 別表第 5 (引火性液体類 容器等級 3)
航空法	施行規則 第 194 条 (危険物 引火性液体)
港則法	施行規則 第 12 条 (危険物 引火性液体類)

16. その他の情報

【引用・参考文献】

- 1) The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II; Robert E. Lenga
- 2) 危険物防災救急要覧 神戸海難防止研究会・編 成山堂
- 3) 社内資料

【問い合わせ先】

・記載内容の問い合わせ先

株式会社武蔵野化学研究所
営業本部

電話番号 03-6810-0242

FAX 番号 03-6810-0148

・運送中の問い合わせ先

株式会社武蔵野化学研究所
磯原工場 業務部

電話番号 0293-42-1147(代)

FAX 番号 0293-42-1185

当データシートは、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には、充分ご注意ください。